

平成 28 年度 調査結果と授業改善のポイント〔中学校・社会〕

社会については、生徒の平均正答率が 51.7%で、全国平均を 3.5ポイント下回り、全国との差は、昨年度より大きくなっている。

種別ごとに見ていくと、問題の内容では「近代の日本と世界」が 7.3ポイント、「身近な地域の調査」が 6.8ポイント全国平均を下回っている。

評価の観点では「社会事象への関心・意欲・態度」が 5.1ポイントをはじめ、「社会的な思考・判断・表現」が 3.8ポイント、と全てにおいて全国平均を下回っている。

出題形式では、「記述式」が全国平均を 10.0ポイント下回っているのをはじめ、全ての出題形式で全国平均を下回っている。

| 受検生徒数 | 設問数 | 平均正答率 (県) % | 平均正答率 (全国) % | 全国との差 |
|-------|-----|-------------|--------------|-------|
| 842人 | 31問 | 51.7 | 55.2 | -3.5 |

| 種別 | | 対象 設問数 | 平均正答率 (県) % | 平均正答率 (国) % | 全国との差 | |
|---------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-------|------|
| 問題 の 内容 | 地理 | 日本の地域構成 | 4 | 57.5 | 60.5 | -3.0 |
| | | 世界と比べた日本の地域の特徴 | 3 | 71.2 | 68.8 | 2.4 |
| | | 日本の諸地域 | 6 | 50.0 | 50.5 | -0.5 |
| | | 身近な地域の調査 | 2 | 30.2 | 37.0 | -6.8 |
| | 歴史 | 近世の日本 | 11 | 49.5 | 54.0 | -4.5 |
| | | 近代の日本と世界 | 5 | 50.9 | 58.2 | -7.3 |
| 評価の 観点 | 社会的事象への関心・意欲・態度 | 12 | 47.9 | 53.0 | -5.1 | |
| | 社会的な思考・判断・表現 | 16 | 47.4 | 51.2 | -3.8 | |
| | 資料活用の技能 | 20 | 50.4 | 54.0 | -3.6 | |
| | 社会的事象の知識・理解 | 30 | 53.8 | 57.0 | -3.2 | |
| 出題形式 | 選択式 | 24 | 52.7 | 54.9 | -2.2 | |
| | 短答式 | 5 | 56.9 | 63.7 | -6.8 | |
| | 記述式 | 2 | 27.1 | 37.1 | -10.0 | |

○：全国平均正答率を上回っている設問（上位3題） ▼：全国平均正答率を下回っている設問（下位3題）
 < >内の数値は県の平均正答率 （ ）内の数値は県と全国の平均正答率の差

【領域・単元ごとの定着状況】

〈地理的内容〉

○果実の生産量のグラフと、山形県で生産されている果実名の組み合わせを選択肢から選ぶ設問
 < 55.5 > (+7.8)

○三角州とリアス海岸の地形図を見て、地形の名前を選択肢から選ぶ設問 < 74.7 > (+7.3)

○世界各地の気候について、雨温図を判断する設問 < 79.5 > (+1.7)

▼排他的経済水域は海岸線から何海里以内か答える設問 < 58.9 > (-10.8)

▼地形図上の長さから、実際の距離を計算して答える設問 < 33.8 > (-9.6)

▼グラフと会話文から、日本の漁業の変化について表現する設問 < 25.2 > (-9.6)

〈歴史的内容〉

○江戸時代の五街道を示した地図から、奥州街道と中山道を選択肢から選ぶ設問 < 49.6 > (+3.5)

○大塩の乱より後の改革について、正しく述べた文を選択肢から選ぶ設問 < 40.3 > (+2.8)

○太閤検地の結果について、正しく述べた文を選択肢から選ぶ設問 < 43.1 > (+2.6)

▼写真とその説明文から、欧米に派遣された使節団名を答える設問 < 51.8 > (-14.4)

▼徳川家光が改定した武家諸法度の資料を、選択肢から選ぶ設問 < 47.3 > (-13.1)

▼アヘン戦争に関する絵とその説明文から、考えられることとして正しい文を選択肢から選ぶ設問
 < 46.4 > (-12.0)

【授業改善のポイント】

〈地理的内容〉

□地理的技能の育成の一層の重視

- ・地図や地形図を活用し、読図や作図などの学習活動を充実させて、思考力・判断力・表現力等の基盤となる言語力を育成する。
- ・領域について、図を描いて理解させ、当面する領土問題や経済水域の問題などに着目させる学習活動を行う。

□地理的な見方・考え方の基礎を培う学習の重視

- ・「どこに、どのようなものが、どのように広がっているのか」「なぜそこでそのようにみられるのか、なぜそのように分布したり移り変わったりするのか」等を追究させる学習活動を行う。

〈歴史的内容〉

□歴史について考察する力や説明する力を育む学習活動の重視

- ・資料を根拠に、歴史的事象の背景や影響、歴史的意義を説明したり、文章や関係図等で表したりする学習活動を行う。
- ・政治面をはじめとする変革に着目し、前の時代と違うどのような特色が、なぜ生まれたのかを考察し、自分の言葉で表現する学習活動を行う。

□近現代の学習の一層の重視

- ・具体的な事例を取り上げ、歴史の流れをつかませるように、思考や表現を重視した学習活動を行う。

〈社会科全般〉

□見通す・振り返る学習活動の重視

- ・資料の提示を工夫したり、ニュース等を紹介したりして、生徒の関心や学ぶ意欲を引き出す。
- ・評価規準を明確にした上で、学習課題を疑問形で示すようにする。
- ・学習課題を解決するために、複数の資料を比較・関連・総合させて考察し、学習課題を自分の言葉で説明する活動を行う。

【正答率の高い設問】上位3題

| No | 設問の内容 | 正答率 (%) |
|----|-----------------------------|---------|
| 1 | 種子島に流れ着いたポルトガル人が伝えた武器を答える設問 | 84.0 |
| 2 | 薩摩藩とともに倒幕をめざした藩名を選択肢から選ぶ設問 | 82.4 |
| 3 | 世界各地の気候について、雨温図を判断する設問 | 79.5 |

【正答率の低い設問】下位3題

| No | 設問の内容 | 正答率 (%) |
|----|-------------------------------------|---------|
| 1 | グラフと会話文から、日本の漁業の変化について表現する設問 | 25.2 |
| 2 | 示された地形図について、正しく述べた文を選択肢から選ぶ設問 | 26.6 |
| 3 | 藩政改革の目的を、2つの資料から考察し、指定の語句を使って表現する設問 | 29.0 |

【無解答率の高い設問】上位3題

| No | 設問の内容 | 無解答率 (%) |
|----|-------------------------------------|----------|
| 1 | 藩政改革の目的を、2つの資料から考察し、指定の語句を使って表現する設問 | 47.6 |
| 2 | グラフと会話文から、日本の漁業の変化について表現する設問 | 38.4 |
| 3 | 写真とその説明文から、欧米に派遣された使節団名を答えさせる設問 | 31.6 |